

公立世羅中央病院だより



閉塞性動脈硬化症について

内科部長 亀田 直毅

皆さんは、閉塞性動脈硬化症という病気を聞かれたことがありますか？

聞いたことがない、という方も多いのではないのでしょうか。

この病気は心筋梗塞や脳梗塞と同じように動脈硬化が原因でおこる病気で、手や足の血管が細くなったり、詰まったりして血流が悪くなる病気です。(ほとんどは下肢の血管が病変の主体となります)

症状は？

ではどのような症状がある病気なのでしょう？

程度が軽いと症状がないこともあります。進行してくると

- ・手足の冷たさ
- ・手足の指の青白さ
- ・ある程度の距離を歩くと下肢が痛くなる
- ・安静にしている時も痛い
- ・足の指などに傷ができ、なおりにくい

などの症状がでてきます。

診断は？

まず、どのような症状なのか、どのようなときに症状が出るのか、などについて詳しくお聞きし、脈をふれたり、血色を確かめたりします。つぎに四肢の血圧を測ったり、血流をみるために超音波の検査を行います。また確定的な診断のためにCTというレントゲン装置を用いた血管造影検査や、血管の中に細い管を通し、直接病変部の近くまで運び、血管を造影するカテーテル検査などを行います。

治療は？

さて、では診断がはっきりしたらどのような治療があるのでしょうか。程度、お困りの症状によって治療は違ってきます。

程度、症状の軽い方では内服薬の治療のみで経過を見て頂くこともあります。

ただ程度、症状の重い方の場合内服薬のみでは残念ながら症状が改善しないことも多々見られます。そのような際には内服薬とあわせ、カテーテルを用いた血管内治療(閉塞、狭窄している血管を拡張したり、再開通させてあげるような治療です)やバイパス術といわれる手術治療が必要となってくることもあります。

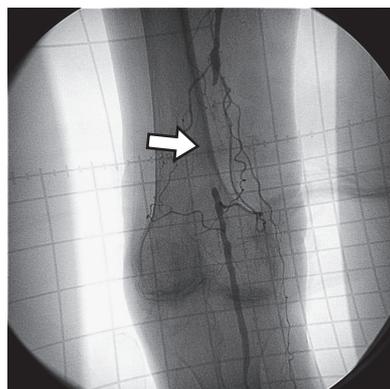
また、そのような方は心臓や脳の血管にも動脈硬化性病変がある頻度が高く、注意が必要です。

おわりに

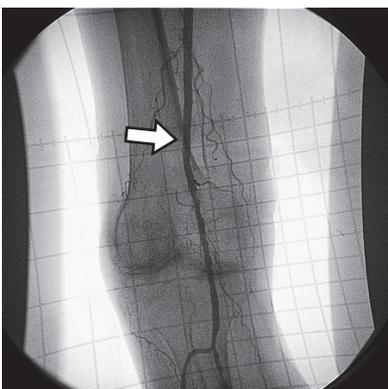
先ほどご紹介したような症状でお困りの方。とくに今までに脳梗塞や心筋梗塞、狭心症などの動脈硬化性疾患があるといわれた方。また高血圧、糖尿病や脂質異常(コレステロールが高いなど)など動脈硬化を起しやすい病気にかかっている方で、歩くと足が痛くなる、足の指の血色が悪いなどの症状が気になる方はぜひ一度ご相談ください。



1. CTを用いた血管造影
一部の血管が閉塞しています。



2. カテーテルを用いた血管造影
一部の血管が閉塞しています。



3. カテーテルを用いた血管内治療後
一部の血管が再開通しています。